

# 里だより

No.384

令和6年1月1日

—発行—

菊池郡大津町平川400番地

社会福祉法人 清和会

つくしの里

TEL 096-293-1550

FAX 096-293-1579



2023. 11. 25  
やさしさ  
いっぱい  
コンサート

新春

ありがとうございました。

編集後記……………7

行事報告・行事予定……………6

職員より・調理場より……………5

主任より……………4

業務部より……………3

施設長より……………1

(ページ)

一月号もくじ



つくしの里 ホームページ

<http://www.tsukushinosato.or.jp>



## 施設長より

### 初春のお慶びを申し上げます



あけましておめでとうございます。旧年中は、大変お世話になりました。本年もよろしくお願い申し上げます。

年末にご案内しました通り、年賀状については控えさせていただきますました。時代の流れにより環境保全への配慮は当然のことと思いますが、これまでの慣習が無くなることに、もの悲しさを覚えます。世界的な地球への思いやりが、私も含めこれまでも出来なかったのかと憂いたりもします。本来であれば、本誌も同様の対応が必要なのでしょうが、ご家族や地域の方々をつなぐ大切なツールと考えています。紙媒体もいずれば無くなるかもしれませんが、今やめてしまったり、メール配信にしたとしても、目に留まる事が少なくなるのではないかと感じておりますので、もう少しは続けさせていただきたいと思えます。

里だよりも本号で384号となりました。12(か月)で割って区切りよく32(年)となります。平成4年1月が創刊号なので、本来なら385号となりますが、1号少ないのは熊本地震が起きた平成28年5月号を休刊したためです。初代施設長の頃から始まり、当時は手書きだったようですが、すぐにワープロを導入し、B4サイズ一枚の里だよりを発行していました。手書きだった業務日誌やケース記録もワープロ導入により一新しましたが、慣れた頃にはWindows95も発売され、パソコンへ変更。それまでX軸Y軸を駆使してグラフを作っていた利用者さん

のデータも、ボタン一つで出来上がる優れもの。その便利さに感動したのを覚えています。アナログな私も、さすがにあの手書きの苦勞をもう一度したいとは思いませんが・・・。

広報誌の目的はPR活動の意味を持ち、施設の特性やサービスの情報、施設行事の紹介、従業員の紹介などが載せられます。閉鎖的に受け取られがちな施設を紙面を通して開放したり、障がいをお持ちの方への理解の取り掛かりになったりする役割を持ちます。目的に沿った工夫も必要になります。多くのご家族がご家庭に届いたのち、手に取って見ていただいていると存じますが、見たくなるように編集担当者が文章の校正・レイアウトや楽しそうな画像・挿絵を入れてくれます。あの写真がいいかな？この写真がいいかな？画像のサイズは・・・とパソコンとにらめっこが続きます。多くの画像から選ぶのも一苦勞ですが、困るのはコロナ禍のようにイベントを自粛し画像がない場合です。さみしい紙面になってしまいます。職員の枠を用意していますが、職員の仕事・利用者支援への思いが記載されます。面談時の限られた時間では話せていない職員のことを知っていただければ幸いです。職員も文責を担いますので、対外的な視点を持つための成長にもつながります。

また、他の施設から届く広報誌は回覧していただきますので、他の施設で取り組んでいる良いものは取り入れてくれます。反対に、他施設からも本誌やホームページを閲覧したとの話をいただくこともあります。お互いの情報を共有しているようです。

そして、里だよりを楽しみにされているのは、利用者さんだったりもします。グループホームに回覧できるようにファイルしていますが、毎日誰かが手に取って見てくれます。文字を読め



ない方も画像を見て、「○○さんが載ってる」と何度も何度も見返して喜ばれています。里だよりは誰のためのものなのかを振り返る良い機会になります。

新しい年のご挨拶は本誌からということになりますので、少しだけ裏側をご紹介します。今年もこの広報誌から楽しい施設の情報をお届けできるように職員一同、日ごろの利用者支援を充実できるように邁進してまいります。

施設長 松永 一博

※電話連絡以外のご家族への情報伝達の手段として、里だより、ホームページ、インスタグラム、安心メール（一斉メール）をご用意しています。緊急時には安心メール（一斉メール）にて情報を配信しています。まだ登録されていないご家族におかれましては、ぜひ登録をお願いします。ご不明な際は、施設へご連絡ください。



## 施設 PR 委員会 今月の 1 枚！



クリスマス会で乾杯の音頭を取りました！  
掛け声はもちろん「メリークリスマス♪」



## 業務部より

### 人材確保（その後）



年末年始はいかがお過ごしでしょうか。個人的には忙しくなる年度末に向けて、鋭気を養う期間にしたいと思っています。

さて、人材確保について五月号で書かせていただきましたが、その後の状況をお知らせします。

新卒・転職のナビサイトは継続中で、各種就職フェアや大学の合同就職説明会への出席等、出来る限りのことはやってきました。就職フェアでは求人チラシの他に、利用者さんの絵とインスタのQRコードを入れた葉を作ってアピールしたり、転職ナビのブログを小まめに更新したり、人材確保推進委員会を中心に全職員が協力して取り組んでいます。その甲斐あってか、現在までに一名の中途採用と新卒三名の内定を出すことができました。年度内の中途採用も含め、あと二〜三名は欲しいところですが、現実には厳しく目途はたっていません。在職の職員の頑張りに感謝しながら、みんなが疲弊してしまわないか心配もあります。

利用者さんにとって安心して生活できる施設であること、職員がワークライフバランスを保って仕事と私生活を充実させるためには、やはり人材確保が不可欠だと感じます。

では、いったい何名の職員がいたら良いのか、十分と言えるのか具体的には難しいところです。経験年数を積めば新人の頃より仕事の仕方も工夫できるようになって、書類仕事等の時間は短縮

できるはずですが。しかし、利用者さんの支援は経験を積んでいても難しい場面があります。新人時代より介護技術が上がり利用者さんとのコミュニケーションは図れても、高齢化による利用者さんの心身の変化への対応、人の手でなければできないこと、福祉施設には「少数精鋭」では賄えないこともあります。

実際、当事業所でも十年くらい人手不足だと言っていますが、振り返ってみると今より職員数が多かった時期もあり、人材定着への対応ができていなかったのだろうと思います。渦中にいけば見えないことが多く、振り返って初めて気づいて対応が後手になってなってしまう。冷静に考えると、長い目で見るとか俯瞰で見るとか、視点が大事ですが、どうしても目の前のことに右往左往し戸惑います。

しかしながら弱気になってはいられません。二〇二四年の事業計画は今からですが、採用活動は二〇二五新卒がスタートします。最初が肝心なので初動を大事にして一緒に働いてくれる人を探しに行きます。

最後になりましたが、令和六年も皆様にとって充実した良い年になるようお祈り申し上げます。

事務長 光永 明日美



## 主任より

### 行く年来る年



今年もあと残りわずかとなりましたが、いかががお過ごしでしょうか。私は、家の大掃除や不必要な物品の処理等を行っています。特に子供の成長は早いもので、着られなくなった洋服はどんどん増えていくばかり。あまり片付いている様子はなく、年越しまでに片付け終わるのか。日頃から計画的にやっておけば良かったなと後悔する年末です。

私がつくしの里に入職したのは平成二十三年。時代は平成から令和に移り、早五年が経ちました。一年一年があつという間に過ぎてきた印象です。特に子どもが生まれてからはそれまで以上に時間が経つのが早く、毎日が追われるように過ぎていきます。自分の余裕のなさに子どもを怒ってしまう事も…。もう少し余裕を持って接してあげれば良かったなと反省する事もあります。子育てはなかなか自分の思うようにはいかないものです。なんで怒られたのか、何がいけなかったのか。子どもに気づいてもらえるようにするには、どのように伝えたらいいのか。子どもは経験を重ねながら成長していきますが、私も親として成長できているのか、自問自答しながら過ごす日々です。

仕事面では、今月から次年度に向けての事業計画会議がスタートしました。今年度は体制の変更もあり、利用者さん、職員共に変化の大きい年間だったのではないかと思います。初めはどうなるのか、うまくいくのか不安が大きい部分もありましたが、課

題はその都度解決しながら進んできました。普段過ごしていた場所や時間等、環境面の変化に利用者さんにも対応していただき、ありがたく思います。

班の運営では、次年度の内容を考えていく時期になりました。今年度は新型コロナウイルスが5類へ移行し制限が緩和された年。ここ数年あまり実施できていなかった個別外出を計画し、出かけられた事が良かったのではないかと思います。また、班外出ではキャンプを行いました。宿泊予定を日帰りの内容に変更しましたが、担当職員を中心として利用者さんへの聴き取り等を行い、意見が反映された外出になりました。外に出る事は利用者さんにも職員にとっても気分転換になりますし、良い経験となったのではないのでしょうか。外出やケース会議等で、いつも感じるのは職員のアイデアや意見の豊かさです。とても頼もしく、いつも助けられています。

利用者さんの支援は、チームとして機能し実施していく事が重要です。次年度に向けて各々の意見や考えを参考にし、皆の意見が反映された事業計画にしたいと思えます。

今年度から車輛の担当をさせてもらっています。十一月から、施設の車輛運転時には、アルコール検知器によるチェックが始まりました。忘年会や新年会等、お酒を飲む機会も多くなるかと思えます。飲酒運転は絶対にしない事。また、安全運転を心がけていただければと思います。

インフルエンザ等の感染症も流行っております。体調に気を付けながら、良い年末年始をお過ごし下さい。

主任支援員 小嶋 健仁

## 職員より



ここ数年間、新型コロナウイルスが猛威を振るい、利用者の皆様はイベントの中止に移動制限等、かなり不便な思いをされました。今年に入り、基準が5類へと移行され、つくしの里でも様々なイベントを開催しました。個人的には、生活介護4班での1泊旅行と秋の里まつりを担当し、利用者さんのニーズを事前に聴き取りながら企画しました。どちらも大きな事故なく、秋まつりでは久しぶりのご家族との交流に笑顔が見られ、利用者の皆様より「楽しかった」との言葉を頂き、私自身、大きな喜びと共に担当として貴重な体験をさせて頂き感謝の気持ちで一杯です。

様々なイベントを通し地域の方々との交流の機会も増えつつあります。施設内に限らず、社会資源も活用して、経験領域の拡大とご利用者の方々の幸福度アップへ繋がる支援を心掛けたいと思います。  
(支援員 外山)

新型コロナウイルスで行事等、以前に比べ縮小したり、内輪だけの開催となる事が多かったのですが、開園記念祭の担当をさせて頂いた時、コロナウイルスも落ち着いていた為、久しぶりに外部から参加して頂きました。可愛い幼稚園児に来てもらい、一緒にゲームをしたり、キッチンカーでスイーツを販売したり、皆さんとても喜ばれました。

まだコロナ前のようにはいきませんが、少しずつ前の様に戻っていかれたらと思っています。これからも、利用者さんにとって、1年1年を楽しく、思い出に残るような支援が出来たらと思っています。  
(支援員 山田)



## 調理場より



「三角食べ」と「ばっかり食べ」どちらもメリットとデメリットがあるようです。私は「三角食べ」の環境で育ちました。日本には「口内調味」と言われる特徴的な食べ方があります。ご飯を口の中に入れ、おかずで味付けをするという食べ方です。献立作成時も「口内調味」を考慮しています。しかし、人によって味覚や感覚は違うので「三角食べ」を不快に感じる人もいます。つくしの里でも「ばっかり食べ」の方がいらっしゃいます。時代によってスタイルは変わっていきます。食事の大切さを伝えつつ、利用者さんがおいしく楽しくお食事ができるよういろいろな情報に目を向けていきたいと思っています。

(管理栄養士 奈須)



## 行事報告

※ 11/21 (火) ~12/20 (水) の実施分について報告いたします

### ★ やさしさいっぱいコンサート【11月25日(土) 大津町生涯学習センター文化ホール】

今年も無事、やさしさいっぱいコンサートを実施することができました。ご協力いただいた保護者会の皆様には大変お世話になりました。

利用者さん達も歌を口ずさんだり手拍子をしたりと各々楽しまれている様子でした。また、数名の利用者さんにステージで歌を歌う機会も設けていただき、普段は見られない生き生きとした様子も見られました。他にも利用者さん参加型の曲や手遊びなど、皆で身体を動かして全身で音楽を楽しみ、会場が一体となって盛り上がることができました。様々な工夫を凝らしていただき感謝しています。

利用者さんの楽しそうな様子がたくさん見られ、とても素敵なコンサートになりました。担当者としては、利用者さんにとっても良い思い出になっていたら良いと思います。

(支援員 池崎)



## 行事予定

### ☆ 参拝・新年会 (日吉神社・つくしの里)

期 日：1月4日 (木)

内 容：職員の代表者で無病息災等を祈願してきます。

### ☆ 生活介護⑤班イベント (和水町)

期 日：1月24日 (水)

内 容：和水町の温泉施設でゆっくり過ごしたいと思います。



# ありがとうございました

今月の掲載分は、  
令和五年十一月二十一日～  
令和五年十二月二十日です



## 【寄付・寄贈】

- ・井本チカ子 様
- ・古閑靖浩 様
- ・坂田昌子 様
- ・田上恵子 様
- ・藤野幸子 様
- ・光永順子 様
- ・渡辺昭子 様
- ・坂梨このみ 様
- ・三協化研 様
- ・ほつこりの里 様
- ・NPO法人花梨の家 様
- ・リニエルサプライ 様
- ・宇野澄代 様
- ・米田政輝 様
- ・田上修二 様
- ・竹山眞事 様
- ・古庄政敏 様
- ・山口静美 様
- ・上村美和 様
- ・長野歯科 様

## 【ボランティア】

- ・村里和洋 様
- ・木本ふじ子様

誠にありがとうございました。  
利用者さんの為に使用させて頂きます。



## 編集後記

十二月下旬には最強寒波の到来により寒い日が続きました。年末年始は暖冬予想ですが、実際はどうでしょうか。

さて、令和六年は甲辰（きのえたつ）だそうです。「甲」は十干の始まりで物事の始まりととらえることができ、「辰」は発芽した植物がしっかりとした形になる、勢いと大きな力、成功ととらえることができます。この二つが合わさって「甲辰」は新しいことが成功する、成功という芽が成長して姿を整えていくような縁起の良い年になるようです。

誰にとっても明るい令和六年になりますように。



※お詫びとおことわり  
里だより担当では、毎月十分注意して、記事の記載、確認をしておりますが、誤字脱字等がございましたら何卒ご容赦していただきたく存じます。

